

「第17回森林を考える岡山県民のつどい」に参加

平成28年10月22日(土)に岡山県津山市大田のグリーンヒルズ津山において、「第17回森林(もり)を考える県民のつどい(主催:森林を考える岡山県民のつどい実行委員会)」が開催されました。

当日は曇りの天候となりましたが、それでも一般の方々や林業関係者など約2,500人の来場者があり、多彩なイベントを通して“木”に親しんでいただきました。

この催しは、森林・林業を多くの人に知ってもらうことを目的に、毎年この時期に開催し、今年で17回目となります。

会場には、美作産材などを使って、来場者がCDラックなどの木工品を作ったり、蔓でかごを編むコーナーなどが出展されました。薄く輪切りにしたヒノキにドングリや松ぼっくりを載せてオブジェを作るクラフト体験もあり、子供たちがドングリに顔を描くなどしてかわいらしい作品を次々と完成させていました。

中国四国整備局では、関西育種場との共催で、水源林造成事業PRを目的に「松ぼっくり・どんぐり工作コーナー」「木へんのつく漢字クイズ」「丸太切り&コースター作り」「オリジナルしおりコーナー」を出展し、参加者には事業パンフレット等の配付を行いました。また、各コーナーにはたくさんの子供たちが参加しました。

今後もこのようなイベントを通して、地域の皆様に水源林への理解を深めるための取り組みを行って参りたいと考えています。

「第17回 森林を考える岡山県民のつどい」ブース風景

(森林総合研究所内ブース風景)



(木のへんのつく漢字クイズブース)



(丸太切りの様子)



(オリジナルしおり作成の様子)



(ドングリ・まつぼっくり工作コーナー)

